



Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

No. 12

平成28年12月22日

編集・発行

学校支援課 広報担当

これからの授業改革は・・・！？ Vol.2 中学校

No.10では、全国学力・学習状況調査の結果から見えた新潟市の授業改革の方向<小学校編>をお伝えしました。今号は、中学校編です。来年度に向けた授業改革の方向を再確認してみませんか。

～全国学力・学習状況調査 新潟市全体の傾向～

○ 成果



<子どもたちの力として>
○ 自分の考えがうまく伝わるように資料を効果的に活用している。

中学校編



<授業の様子から>

- 「学習課題とまとめ」を中心に授業改革の取組が着実に進められている。
- 「話し合う活動」の導入が進んでいる。



<総合的な学習では>

- 総合的な学習の時間でも問題解決型の授業が行われている。

▲ 課題

●家庭学習の時間確保をはじめ、学習習慣の形成に向けた取組が必要である。

- ・ 学校の授業の予習をしている。(全国比 -9.1ポイント)
- ・ 学校の授業の復習をしている。(全国比 -4.8ポイント)
- ・ 1日当たりの勉強時間(学校の授業時間以外の普段〔月曜日から金曜日〕)
(全国比 -14.5ポイント)

家庭学習の取組の見直し例

- ☆授業の振り返りを宿題にする。
- ☆教科書を使った授業の予習・復習の仕方を例示し、よい取組を生徒同士が共有できるようにする。
- ☆終会等で昨日の家庭学習を振り返り、今日の家庭学習内容を決める時間を設定する。学級の仲間や縦割り班で家庭学習のコツなどを生徒同士が共有できるようにする。

ポイント① 授業と家庭学習とのつながりをつくる

～国語と数学の授業改革のポイントはここ～



国語

図表と文章を関連づけて読み、文章全体の構成を捉えられるようにする

★図表などが文章の中心的な部分、又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかを捉えられない場合

こう変える

☆図表やグラフ、写真やイラストなどの資料を読む活動を授業の中に積極的に取り入れる。

数学

表面的知識ではなく、もっている知識の意味が分かり、生活や他の場面で使うことができるようにする

★式やグラフ・表を基に、生活事象についての数学的解釈ができない場合

こう変える

☆日常生活と関連させ、式やグラフ、表から分かることを生徒が主体的に対話する授業構成をする。

ポイント② 図表や写真などの資料を活用する

ポイント③ 学んだことと日常生活とを関連させる



～授業改革のポイントはここ～

学習課題の質を高める授業づくりに学校全体で取り組むことが大切

内容性

情意性

集団性



「おやっ？」「何でだろう」「もっと考えたいな」

生徒が主体的になる

取り組んでいる学校の生徒の姿

- ◎生き生きとした表情で意欲的に学習課題に向かう
- ◎仲間との検討を通して考えを深める

生徒の考える力が高まる

「家庭学習」「資料の活用」「日常生活との関連」

「質の高い学習課題」を授業改革のポイントに

継続的な授業改革の取組を！

